

新体制での定例会 開会!



定例会本会議(一般質問)の様子

議会日誌

- 6月 1日 代表者会議
- 5日 議会運営委員会
- 12日 第2回定例会
- 14日 本会議
明 行政報告、議案説明
- 15日 本会議
一般質問
- 16日 本会議
一般質問
議会運営委員会
- 5月 29日 建設環境委員会
- 30日 福祉文教委員会
- 14日 本会議
議案(補正予算・即決除く質疑付託、議案(補正予算)質疑、補正予算特別委員会設置、付託、議案(即決)質疑、討論、採決
補正予算
特別委員会

令和5年 第2回定例会

もくじ

- P2 委員会で詳しく審査
委員変更のお知らせ
- P3 渡辺前議長肖像写真掲額式
令和4年度政務活動費
議員表彰、小学生傍聴
- P4 一般質問(19人)
- P7 正副議長・議員公務
- P8 議案審議結果

- 19日 本会議
一般質問
- 20日 本会議
一般質問
- 21日 補正予算
特別委員会
- 22日 総務委員会
- 23日 福祉文教委員会
- 26日 建設環境委員会
- 30日 議会運営委員会
本会議
議案委員会報告、
討論、採決

委員会で詳しく審査しました

～令和5年第2回定例会中に審査した内容は下記のとおりです～



総務委員会

特定所管事務自主調査事項を「避難所運営の諸課題について」に決定しました。

福祉文教委員会

議案6件を審査しました。稲城市重症心身障害児(者)等通所施設条例は、2件の質疑があり、主な内容は次のとおりです。

問 利用対象者は、

答 市が援護している方。

問 開館時間は、

答 祝日関係なく、月曜日から土曜日の9時から5時。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

稲城市発達支援センター条例の一部を改正する条例は、質疑・討論がなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

稲城市重症心身障害児(者)等通所施設の指定管理者の指定については、1件の質疑があり、主な内容は次のとおりです。

問 事業者公募の要件は、

答 入浴設備を造ること、サー

ビス提供時間を16時以降までとすることなど7つ。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

稲城市発達支援センター分室の指定管理者の指定については、1件の質疑があり、主な内容は次のとおりです。

問 教育との連携は、

答 教育相談室と事務室を共有し連携していく。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

稲城市義務教育就学児の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例は、3件の質疑があり、主な内容は次のとおりです。

問 改正の背景・理由は、

答 都制度において所得制限が撤廃されない中、市民要望に応え、令和6年4月から所得制限を撤廃する。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

稲城市高校生等の医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例は、6件の質疑があり、主な内容は次のとおりです。

問 改正の理由は、

答 現制度は都が財源を負担する3年の間に4年目以降の負担を協議することとなるが、市民要望に添えるため、都との協議に先んじて、令和6年4月から所得制限を撤廃する。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

特定所管事務自主調査事項を「8050問題について」に決定しました。

建設環境委員会

議案2件を審査しました。稲城市市税条例の一部を改正する条例は、5件の質疑があり、主な内容は次のとおりです。

問 マンション長寿化促進税制の概要は、

答 一定の要件を満たすマンションについて、令和5年4月1日から令和7年3月31日までに長寿化工事を完了した場合、翌年度の固定資産税を3分の1減額する。

問 森林環境税の概要は、

答 森林整備等に必要な地方財源を安定的に確保する観点から創設された国税。令和6年度から個人市民税均等割と合わせて1人年額1000円を市が賦課徴収する。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

稲城市地区計画の区域内における建築物の制限に関する条例の一部を改正する条例は、質疑・討論がなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

特定所管事務自主調査事項を「市内公園の管理運営につ

いて」に決定しました。

議会運営委員会

特定担任事務調査事項を「議会運営の効率化について」に決定しました。

補正予算特別委員会

議案1件を審査しました。令和5年度東京都稲城市一般会計補正予算(第3号)は、33件の質疑があり、主な内容は次のとおりです。

問 都補助金を活用した子どもの安全対策の概要は、

答 都の10分の10補助で、送迎バスの置き去り事故防止対策などを実施する。

問 任意予防接種補助金の内容は、

答 おたふくかぜワクチンおよび帯状疱疹ワクチンの接種費用の一部助成にあたり、市医師会に補助を行う。

問 公立保育所等運営事業の遊具点検委託の内容は、

答 第五保育園庭内の6つの遊具を基準に基づき専門業者が点検・診断する。

問 住民税非課税世帯等臨時特別給付金支給事業について、前回との主な違いは、

答 市民税均等割が課税されている方の扶養親族などのみで構成される世帯が、今回は対象となる。

問 高齢者施設等整備補助金の増額の概要は、

答 建設費の高騰に対する緊急的な増額。

問 保育所等運営委託・補助事業の物価高騰等緊急対策臨時給付金の使途は、

答 物価高騰の影響を受けている保育所などに、保護者な

どの負担がないような形で使っていた。

問 稲城市発達支援センター分室管理運営事業の債務負担行為補正の内容は、

答 指定管理を想定しており、発達相談の業務に加え、施設管理費、児童発達支援センターに係る経費を計上した。

問 医療費助成等事業の医療証等発送の対象見込みは、

答 義務教育就学児は2243人、高校生などは1124人を見込んでいます。

問 プレミアム付きデジタル商品券は、活性化にどのように結びついているか、

答 市外への消費の流出を抑制し、市内経済の活性化に寄与するものと考えている。

問 姉妹都市等交流事業の概要は、

答 フォスターシティー市から、7月の7日間、少年少女および保護者が訪れ、市の子どもたちと交流を図る。

問 エネルギー価格高騰対策支援金の概要は、

答 令和4年12月から令和5年6月までの任意の1か月と、前年、前々年同期で使用したエネルギー価格との差額に12か月を乗じた額が10万円以上の場合、一律5万円を支給する。

問 農業用資材購入経費支援事業補助金の内容は、

答 肥料や種、農業器具などの購入費用が対象。

問 消防費について、繰越明許を設定する理由は、

答 消防団消防ポンプ自動車の更新について、半導体の供給不足などにより、年度内の納車が困難となったため。

問 マイナポイント申込手続支援の期間延長に伴う委託料

増額の概要は、

答 申込みが適正にできるよう制度の説明および端末操作のサポート支援を行っている委託を9月末まで延長する。

問 プレミアム付きデジタル商品券は、発行数をどのくらい増やして、プレミアム率をどのくらい上げるのか、

答 当初は2万セットで10%を見込んでいたが、6万セットで20%に増やす。

問 教育指導に関する経費の報酬の内訳は、

答 市内5校の中学校に、校内別室指導支援員を1名ずつ配置する際の報酬。

問 校内別室指導支援員の役割は、

答 生徒への個別の支援や居場所としての見守りが中心になると想定している。

問 街路灯・防犯灯等設置工事については、寄附者の意向は、

答 稲城上平尾土地画整理組合から、安全・安心なまちづくりのために活用してほしいとの目的で寄附された。ひ

問 特別教室空調設備設置工事設計委託について、教室の種類と数は、

答 小学校は、図工室および家庭科室、11校・22教室、中学校は、美術室、技術室、家庭科室と理科室、6校・32教室を予定している。

問 校内別室指導支援員の採用と指導管理は、

答 面接などを踏まえ、慎重に判断し、採用を決める。支援員の管理などは、学校管理職において適切に行う。

問 特別教室空調設備設置工事設計委託の内容は、



▲補正予算特別委員会の様子

問 空調機の能力算定、電気式またはガス式の熱源選定などを検討するほか、図面の作成や積算などを行う。

問 南山小学校校舎増築工事の積算内容は、

答 3月適用の公共工事設計労務単価などの上昇を受けて、適正な賃金水準の確保が図られるよう積算した。

問 校内別室指導支援員は、

答 過去に学校の勤務に関わった方などを最優先で採用していきたい。

討論はなく、採決の結果、起立全員により原案のとおり可決されました。

議会運営委員会 委員変更のお知らせ

6月12日付で議会運営委員会委員の変更がありましたので、次のとおり、お知らせします。

- 新 渡辺 力 議員
- 旧 池田 英司 議員



▲議場花 MOA光輪花クラブ作

渡辺 力前議長 肖像写真掲額式

7月20日(木)に第33代、34代議長の肖像写真掲額式を挙りました。

渡辺前議長は、令和元年5月15日から令和5年4月30日までの2期4年間、市議会議長として、タブレット端末の導入や新型コロナウイルス感染症拡大に対する市議会としての対応など多方面にわたって先頭に立ち、議会の活性化に尽力されました。



令和4年度

政務活動費の収支をお知らせします

政務活動費は会派の所属議員に対して交付されます。交付額は「1人当たり月額25,000円」で、12ヵ月分を一括して交付しています。

令和4年度 政務活動費収支報告(令和4年4月～令和5年3月分)

会派・議員数	項目	交付額	支出の内訳								支出合計	返還金	
			研究研修費	調査費	資料作成費	資料購入費	広報費	広聴費	通信費	事務費			その他
新政会	7人	2,100,000	366,814	266,349	0	26,500	1,209,208	0	294,710	62,794	0	2,226,375	0
公明党	3人	900,000	0	120,201	0	18,810	489,237	0	36,000	57,187	2,200	723,635	176,365
日本共産党	3人	900,000	0	0	0	0	863,170	0	90,000	0	0	953,170	0
市民クラブ	4人→3人 ^{*1}	1,050,000	0	440	0	113,736	696,565	0	147,000	45,444	0	1,003,185	46,815
起風会	2人	600,000	17,138	0	0	82,769	0	0	84,000	15,633	0	199,540	400,460
改革稲城の会	2人	600,000	0	0	0	0	113,933	0	84,000	1,540	0	199,473	400,527
稲城の力	1人	300,000	0	0	0	0	0	0	42,000	0	0	42,000	258,000
合計(=議員数)	22人→21人 ^{*2}	6,450,000	383,952	386,990	0	241,815	3,372,113	0	777,710	182,598	2,200	5,347,378	1,282,167

*1 令和4年9月に1人脱退したため、10月から3人になっています。 *2 令和4年9月に市民クラブから1人死亡により脱退したため、10月から21人になっています。



小学生議会傍聴

稲城第六小学校の6年生が校外学習として、6月16日の本会議を傍聴しました。難しい言葉もたくさんあったと思いますが、皆さん熱心に耳を傾け、メモを取っている姿が印象的でした。



議長4年以上
渡辺 力 議員
議員20年以上
北浜 けんいち 議員
中山 賢二 前議員

全国市議会議長会 議員表彰

全国市議会議長会より、市議会議員として永年勤続され、市政発展に尽くした功績が認められ、議長より、表彰ならびに記念品の伝達が行われました。また、渡辺力議員は都市問題に関する特別委員会委員も務め、感謝状が贈呈されました。

一般質問

本定例会の6月15日から4日間にわたり、19人の議員が市政について66項目の一般質問を行いました。その要旨は次のとおりです。紙面の都合上、1人1項目のみ掲載しています。なお、その他の質問項目については、市議会ホームページに掲載しておりますのでご覧ください。

※茶色く太字になっている用語については6面で詳しく説明しています。

若葉台駅、京王よみうりランド駅のエスカレーター設置、ホームドア設置等について



岡田 議員

問 若葉台駅、京王よみうりランド駅のエスカレーター設置を求めるときと考えるが、市の認識は。

答 エスカレーター設置については、これまでも京王電鉄に様々な機会を捉え要請してきているが、今後も引き続き要請していく。

問 京王相模原線でエスカレーターが設置されていない駅は。若葉台駅、稲城駅、京王よみうりランド駅、コロナ前の平成30年度の1日の乗降人数は。若葉台駅、京王よみうりランド駅のエスカレーター設置の見通しについて認識は。

答 エスカレーターが設置されていない駅は、若葉台駅、京王よみうりランド駅、京王多摩川

駅と聞いている。また、平成30年度における1日の乗降人数は、若葉台駅が2万7278人、稲城駅が2万1596人、京王よみうりランド駅が1万4233人と聞いている。若葉台駅および京王よみうりランド駅へのエスカレーター設置については、現時点では未定。

問 今後も引き続き利用者の利便性の向上が図られるよう要請していくとのことだが、いつ頃どのように要請していくのか。

答 毎年、南多摩市議会議長会より京王電鉄に対し、鉄道事業の整備促進に関する要望書を提出しているほか、京王電鉄との情報交換会など、様々な機会でも要請しており、今後も継続して取り組んでいく。

婚活事業について



角田 議員

問 出生数減少の主な要因の一つに、結婚をしなくなったことが挙げられると思うが、人と人との出会いとなる婚活事業について。市では、平成26年度から婚活事業に取り組み、令和4年度からは、新たに稲城市・府中市・国立市・狛江市で広域連携事業として取り組んでいる。婚活事業について、市の目的は。

答 人口減少が続く中で、その対策として、結婚希望者を後押しするため、男女が気軽に参加できる機会として実施している。結果として結婚に至ることで、本市への移住・定住促進及び少子化対策につながることを期待している。

問 広域連携で婚活事業を行うことの意味は。

答 近隣の自治体で政策的に連携して取り組むことで事業拡大を図ることができ、地域の魅力発信につながることも、地域の活性化に寄与するものである。

問 令和4年度の広域連携事業として行った婚活事業の実績は。

答 令和4年度は年4回開催した。1回目は狛江市で開催し、参加者29人で5組のカップルが成立した。2回目は稲城市で開催し、参加者30人で13組のカップルが成立した。3回目は国立市で開催し、参加者30人で、6組のカップルが成立した。4回目は府中市で開催し、参加者30人で、5組のカップルが成立した。

陽だまりヘルプ事業について



村上 議員

問 陽だまりヘルプ事業の概要とこの事業を開始した経緯については。

答 障害者(児)の保護者の病气や休息、冠婚葬祭、その他の行事などにより、家庭における介護が困難となった場合に、一時的に保護をする在宅心身障害者(児)緊急一時保護事業の一つとして、介護人が利用者の自宅または介護人宅で見守りやお世話をする地域の相互扶助の制度である。開始の経緯は、障害者団体からの要望を受けて検討し、都の補助事業も活用して、昭和59年度に制度を創設した。

問 在宅心身障害者(児)緊急一時保護事業の一つとして、特別な資格がなくても介護人がお世話をする事ができるというの

が大きな特徴であり、地域の相互扶助の制度ということで、大変よい制度と思うが、過去5年間の利用実績については。

答 過去5年間の実人数での利用実績は、平成30年度9人、平成31年度13人、令和2年度9人、令和3年度9人、令和4年度10人である。

問 今後の取り組みと事業の周知については。

答 障害者手帳を取得した方などに渡している障害福祉のしおりに掲載しているほか、ホームページにも掲載している。また、一時保護などの必要性がある方から相談があった場合には、個別に制度を案内しており、今後も周知していく。

自治会の支援について



岩佐 議員

問 自治会は、安全・安心に暮らせる地域づくりには不可欠である。しかしながら、自治会加入率の減少、中心となる方々の高齢化など、様々な課題を抱えながら活動されている自治会も多いのが現状である。市内の自治会の加入率の推移とそれに対する市の認識は。

答 市の自治会加入率の推移は、各年度4月1日現在の数値で、平成30年度は51.1%、平成31年度は50%、令和2年度は49.7%、令和3年度は47.4%、令和4年度は46%である。市における自治会加入率は低下傾向であると認識しており、稲城市自治会連合会と連携し、加入促進を図っているところである。

問 各年度で役員の多くが交代する自治会や管理組合では、都や市における新たな助成制度について全て把握ができなかったり、申込み方法が難しく申請自体ができなかったというケースがあった。このことから、市として事業実施に伴う各種助成金の申請までを幅広く支援していく必要があると考えるが、市の見解は。

答 市では、自治会の活動支援を目的として、都および公益財団法人東京都つながり財団と共同で助成制度活用講座を実施し、都や市の助成制度の紹介をしている。

文化活動可能な施設の運営形態と契約並びに老朽化対応について



鈴木 議員

問 地域振興プラザとiプラザの設置目的と費用対効果をどう見込んで指定管理者制度を採用しているのか。市民の要請に対し、柔軟な対応ができていくか。

答 地域振興プラザは、産業の振興などを図るために設置し、人件費相当分などの縮減を見込み指定管理者制度を採用した。市民からの要望は指定管理料の範囲内で実施可能なものは柔軟に対応し、対応困難なものは、次年度の検討課題としている。

問 プラザは、市民の生涯学習活動などの振興を図り、青少年の健全育成に寄与するために設置し、整備、運営を一括して発注することで財政負担として11%の軽減が見込まれ、PFI事業とし、維持管理運営を一体的に行うため、指定管理者制度を採用した。また、要望については、柔軟な対応ができていくか。

問 市民から施設、備品についての要望は出ているか。

答 市民からは施設の利用における様々な修繕の要望がある。備品に関する要望も、把握している。

問 特殊な設備については、利用者負担や更新の際、利用者などの意見を取り入れることは、有用と考えるが、見解は。

答 特定の用途、団体が利用する設備は、将来的な利用者負担額の設定を検討する。更新については、利用者などから意見を聴取し、設備選定するものと認識している。



▲自治会への助成制度活用講座の様子

市民生活の向上めざし

※茶色く太字になっている用語については6面で詳しく説明しています。



▲城山公園に設置している健康遊具

市内の公園に健康遊具を 設置することについて



池田 議員

問 現在の健康遊具の設置状況は。

答 城山公園、若葉台公園および稲城北緑地公園など、13か所の公園に設置している。

問 健康遊具が設置されている地区と、その基数、遊具の種類は。

答 向陽台地区8基、大丸地区5基、矢野口地区5基、東長沼地区4基、平尾地区4基、若葉台地区4基、百村地区2基の7地区に合計32基が設置されている。種類は、背伸ばしベンチ、ぶら下がり器具、腹筋ベンチ、手すりつき平均台、バランスストレッチ器具などである。

問 古くからある身近な公園にも健康遊具があることが望ましいと考えている。これは、足の

弱った高齢の方々の外出の動機づけの一つとして、健康遊具は重要な役割を果たすと考えているからである。遊具の入替えの際に健康遊具を候補の一つとすることや、今後どのように健康遊具を設置していくか、市の考えは。

答 既存の公園について、新しい遊具に更新する際には、健康遊具と併用する遊具もあるので、配置バランスも考慮して検討していく。また、大規模改修整備が予定され、現在ワークシヨップで検討が進められている吉方公園や、今後、土地区画整理事業で新設される公園の設計においては、地域の方々の意見を聞きながら、健康遊具の設置についても検討していく。

ふるさと納税について



中島 議員

問 市のふるさと納税の直近の流出額は。

答 令和4年度のふるさと納税に係る市民税の寄附金控除額は約4億600万円である。

問 新たな寄附者獲得に向け、ポータルサイトを増やすことは、返礼品の認知度を高める上でも非常に効果的であると考えるが、市の見解は。

答 これまで安価な利用料を設定していたふるさとチョイスのみに登録していたが、今般、ふるさとチョイスを利用した市への寄附金額が1千万円を超え、利用料が寄附額に対して定率となったことから、楽天、ふるさなど、他の利用料定率のポータルサイトにも登録し、新たな寄附者獲得を図りたい。

問 返礼品の充実について、市にはヴェルディやジャイアンツなどのプロスポーツチームもあり、チームの協力をいただければ、サイン入りユニフォームや、いわゆる**コト消費**の部分で返礼品を充実させることができると思うが、市の考えと今後の取り組みについては。

答 役務の提供による返礼品は、市においても返礼品を充実させる可能性もあるが、大量供給ができない、実際に市に来てもらう必要があるなど、寄附額を増加させる効果としては限界もある。しかし、このような厳しい状況下において、プロスポーツチームとの連携は、話題性など、一定の効果も期待できるため、引き続き研究をしたい。

稲城榎戸土地区画整理事業について



土居 議員

問 ボール遊びが禁止されている公園がある。矢野口周辺も同様で、子どもたちが自由に遊べる場がなくなってきた。苦情があるたびに遊び場が減ってしまうことについて市の考えは。

答 近年、ボール遊びに対し、周辺住民から苦情が増えており、対策として周辺住民との話し合いにより、注意喚起のポスター掲示やボールよけネットを設置した公園もある。こうした取り組みを行ってもマナーの改善が見られない公園はやむを得ず一部のボール遊びを制限している。

問 具体的対策などを講じた上でボール遊び制限の緩和や撤廃することについて市の考えは。

答 ボール遊びの制限について、周辺住民の方々の理解が得られ

る効果的な対策が講じられる場合には、ボール遊びの制限を試験的に解除していきたい。

問 矢野口自治会館裏の公有地は地域行事などに使用されており、地域住民の協力の下で除草活動をしている。(仮称)矢野口公園が整備されることにより、今後、公有地としての用途と考

え方、また継続した除草などの管理について市の考えは。

答 矢野口自治会館に隣接する土地は、地域行事などの利用を可能としたことから、地元の有志の方が草刈りなどを行っている。今後は、地域の意見を踏まえ、多目的広場としての使用など、地域コミュニティの核となる矢野口自治会館との一体的な利用方法を検討していく。

iバス等による利便性の 向上について



つじ 議員

問 ソコラ若葉台から平尾に帰る際、ソコラ付近にiバスのバス停がなく、利便性向上を望む多くの声がある。市の見解は。

答 補完経路として、ソコラ付近にあるソコラ若葉台バス停から路線バスに乗り、上平尾バス停まで行くと、iバスに乗り継ぐことが可能で、乗継時間の短い運行ダイヤもあるので、その周知について検討していく。

問 市立病院の往復路線である小田急バスの市立病院行が減便し、利便性が低下していると聞いている。市の見解は。

答 新型コロナウイルス感染症による利用者減に伴い、小田急バス全体の運行見直しが実施された令和2年11月16日のバスターダイヤ改正により、平日および土

日において1日11便から7便に減便となっている。新型コロナウイルス感染症の状況などを踏まえ、利便性の向上を図るため、稲城地域公共交通会議においてバス事業者に対して便数の改善を要請していく。

問 高齢者の方々から、iバスの行き先が分かりづらいとの声がある。改正時に改善すべきと考えますが、市の見解は。

答 バス停にはバス番号、出発時刻表、個別の路線図などを掲示している。また、車両には、前方と後方に行き先表示幕、側面には主なバス停の表示幕を設置している。経路見直しの際に高齢者などに配慮した分かりやすい表示などのさらなる改善が図られるよう検討していく。

プラスチックごみの収集について



坂田 議員

問 市では、プラスチックごみの収集開始にあたり、オープンハウスや自治会などへの説明会、プラスチック分別ガイドの作成やごみ分別アプリのリリースなど様々な機会をとらえ、市民・事業者へ事業についての周知・啓発を行ってきたと聞いている。事業開始後の市民からの意見については。

答 市民からの主な意見としては、「これまで、燃えるごみ・燃えないごみとして出していたプラスチックごみが分別回収になったことで、可燃ごみの量が減り排出が週1回で済むようになった」とや、「家庭でのごみが減量したので現在の可燃ごみ指定収集袋の5L相当の特小より更に小さいごみ袋を作ってほし

い」と、プラスチックごみの収集日が週1回となっているが、もう少し回収回数を増やしてほしいなどの意見を聞いている。

問 これまで使用していた可燃、不燃ごみ袋を使用する機会が減ったといった意見がある。プラスチックごみ用収集袋に交換してほしいとの意見への市の対応は。

答 各家庭で不要となった、未使用、未開封の燃えるごみ、燃えないごみ用の指定収集袋をプラスチックごみ用指定収集袋へ交換する対応を開始した。

問 周知方法については。

答 市広報誌や市ホームページ、ごみ分別アプリの通知機能を通じてお知らせしている。

用語の説明

本文中の太文字の説明です。

【PFI事業】…民間の資金と経営能力・技術力(ノウハウ)を活用し、公共施設などの設計・建設・改修・更新や維持管理・運営を行う公共事業を実施するための手法の1つ。

【ふるさと納税】…全国の支援したい地域に寄附ができる制度のこと。さらに寄附の返礼品として地域の特産物などがもらえ、確定

申告をすると一部が所得税、住民税から控除される。

【コト消費】…商品やサービスの購入を決めるときに体験や経験の価値を重視する消費行動のこと。

【スクールソーシャルワーカー】…福祉の専門性を持ち、問題を抱える児童・生徒を取り巻く環境へ働きかけたり、関係機関などとの連携・調整を行ったりする人のこと。

【生成AI】…ジェネレーティブAIとも呼ばれ、学習したデータに基づいて、高品質な文章や画像、その他コンテンツを生み出すことができる人工知能(AI)のこと。

【ChatGPT】…高度な人工知能(AI)技術によって、人間の質問に対してまるで人間のように自然でクオリティの高い回答をする人工知能(AI)を使ったチャットサービス。

三沢川沿い遊歩道の環境整備について



佐藤 議員



▲三沢川沿い遊歩道に設置している簡易的ベンチ

問 外出をして歩くことは心と身体の健康に大変有効である。とりわけ高齢者にとってはなおのこと重要であり、高齢化社会ではその重要性はより一層高まっている。この観点から、高齢者が外出して歩くことを促進するため、なお一層の環境整備が必要である。三沢川沿いの遊歩道への簡易的ベンチの更なる設置について、市の見解は。

答 簡易的ベンチを設置すること、歩行者が安全に通行することができるとは、歩道の有効幅員を確保することが困難な区間が多いため、現状設置していない。今後は、現地を確認し、設置可能な箇所については、設置に向け検討したい。

問 簡易的ベンチの増設は以前から利用されている方のためであると同時に、今後利用される方が増えることにも寄与すると思われる。市の見解は。

答 歩行中に休憩などができるとともに、高齢者をはじめとする市民などの外出を促し、健康の増進にも寄与するものと考えられる。市の見解は。

市内小・中学校の特別教室などの空調設備について



湯谷 議員

問 市内の小・中学校の空調設備に関しては、大切な未来を担う小・中学生や教員にとって快適に過ごせるよう環境を整えることが重要であると考えられる。特に教室内での熱中症予防対策なども検討していく必要がある。人口増により、市内の一部の学校を除き、ほぼ市内全域で学級数が増える傾向にあるとのことである。学級数が増えるということは、その分、普通教室が増えるということである。学級数が増える場合の、普通教室の空調設備の準備については。

答 学級数が増える傾向にあるとのことである。学級数が増えるということは、その分、普通教室が増えるということである。学級数が増える場合の、普通教室の空調設備の準備については、空調設備を設置していない場合には、空調設備を設置していく。問 学級数が増える場合の空調設備の準備については、

問 補聴器は、集音器に比べて高額で仕組みが複雑である。つけた当初はいろいろな音が大きく感じてしまう。雑音に意識が行かなくなり、会話に集中できないようになるために慣れが必要である。さらに、その人の聞こえの状態に合わせて、よく聞こえる周波数のところは少しだけ大きく、聞こえづらい周波数のところは小さく大きくするといった周波数の調整を行う。この慣れと調整に約3カ月かかり、補聴器相談医や認定補聴器技能者などの専門家が寄り添う必要がある。補聴器は手間もお金もかかるが、集音器では決して代用できない細かさがあり、高齢者の生活を改善させていくことができるのではないか。都府

問 補聴器は手間もお金もかかるが、集音器では決して代用できない細かさがあり、高齢者の生活を改善させていくことができるのではないか。都府

誰一人取り残さない不登校支援について



いそむら 議員

問 現在、市内小学校には、教員のほか教員免許などの有資格者である教育補助員、資格を必要としない特別支援指導補助員、算数補助指導員が授業のサポートをするため、配置されている。指導の取り組みについては。

問 授業中に集中していないなどの子が増えた、手を挙げて発言する子が減ったなどの声があるが、増員について市の考えは。

授業サポーターにおける生徒について



川村 議員

※茶色く太字になっている用語については6面で詳しく説明しています。

議会の豆知識「一般質問ってなに？」

一般質問とは、議員が議案とは関係なく市長に対し、市が行う福祉や教育、インフラなどのさまざまな事業についての現況、問題点、将来の方針など幅広く質問することです。

一般質問は、市民の代表である市議会議員が市の考え方をチェックし、市民の思いや要望を市民サービスに反映させる大切な役割を果たしています。

※茶色く太字になっている用語については6面で詳しく説明しています。

坂浜地域の交差点付近の交通課題や歩行者への配慮について



榎本 議員

問 上平尾方面からソコラ若葉台前交差点で右折をする際に、右折がしにくい状況であると聞いている。市の認識は。

答 多摩中央警察署からは、現状、一定の円滑な通行状況が確保されているとの見解が示されている。市では、多摩中央警察署に右折矢印信号機の設置を要請していきたいと考えている。

問 昨年、稲城第二中学校前南側の学園通りにおける日本大学敷地内の歩道の設置について質問したが、市はこれまで日本大学に対し繰り返し歩道の設置に関する要請をしており、日本大学側からは、今後の土地利用を図る際に検討することであった。その後の進捗は。

答 安全性の向上や良好な住環境の形成を図るため、改めて市から日本大学に対し、歩道設置に関する要望を行ったところ、日本大学より、敷地内に歩道を設置する方向で話を進めるとの回答があった。今後は、日本大学と歩道設置に向けた具体的な協議を進めていく。

問 日本大学と協議した具体的な内容と今後の予定は。

答 市から日本大学に対して、敷地内の歩道整備について、改めて周辺住民等からの要望を踏まえた整備の必要性を強く訴え要望をしたところ、日本大学からは、整備に向け、相互で協議を始めることに同意する旨の回答があった。今後は、歩道整備に当たっての役割分担などについて協議を進めていく予定。

マイナナンバーカードおよびマイナ保険証について



武田 議員

問 市内の医療機関でマイナ保険証が正しく読み込まれない場合や、機器の故障があつて本人確認ができないなどのトラブルが発生した場合の対処法は。

答 市では、市内の医療機関においてマイナナンバーカードを健康保険証として使用する、いわゆるマイナ保険証に伴うトラブルにより、被保険者の受診に支障が生じているという認識はない。

問 現在、各医療機関設置のマイナナンバーカード読み取り機の機械故障などの場合には、保険証の提示を求めるとのことであるが、保険証の提示を求めていることなどについて聞いている。

答 現在、各医療機関設置のマイナナンバーカード読み取り機の機械故障などの場合には、保険証の提示を求めていることなどについて聞いている。

問 全国保険医団体連合会の調査では、保険料を支払っているのに、保険資格なしとされ、医療費が10割負担となるケースが、545件報告されている。市内の医療機関でマイナ保険証しか持たずにエラーになった場合の対処法は。

答 保険証を持たず、各医療機関に設置のマイナナンバーカード読み取り機の機械故障などの場合には、市へ国民健康保険被保険者資格を電話で照会し、確認する対応などもある。

問 安全性を確保しながら生成AIを行政事務に活用することにより、業務の効率化が促進され、市民サービスや接遇の向上が期待できると考えるが、市政事務への活用については。

答 現時点では想定していない。

問 全国の地方自治体に先駆けて生成AIを業務に本格運用したつくば市の政策イノベーション部長などから、自治体向けのチャットツールLOGOチャットと連携させたChatGPTの活用を始めていると聞いている。市でも、職員間の連絡、相談などでLOGOチャットを導入

問 全国的な地方自治体に先駆けて生成AIを業務に本格運用したつくば市の政策イノベーション部長などから、自治体向けのチャットツールLOGOチャットと連携させたChatGPTの活用を始めていると聞いている。市でも、職員間の連絡、相談などでLOGOチャットを導入

問 全国的な地方自治体に先駆けて生成AIを業務に本格運用したつくば市の政策イノベーション部長などから、自治体向けのチャットツールLOGOチャットと連携させたChatGPTの活用を始めていると聞いている。市でも、職員間の連絡、相談などでLOGOチャットを導入

問 全国的な地方自治体に先駆けて生成AIを業務に本格運用したつくば市の政策イノベーション部長などから、自治体向けのチャットツールLOGOチャットと連携させたChatGPTの活用を始めていると聞いている。市でも、職員間の連絡、相談などでLOGOチャットを導入

統一協会から市民を守る 早急な対策から実施について



山岸 議員

問 統一協会(世界平和統一家庭連合・旧統一教会)による多摩地域への進出について、市民から不安の声が寄せられている。市としても早急な対策を講じることを求めるが、統一協会や関連団体、またその関係者が市の施設を利用してセミナーや学習会を開催することについて認識は。

答 旧統一教会に対しては、法令違反が疑われる行為について国が宗教法人法に基づく報告聴取、質問権を行使している状況である。この動向を注視している。

問 市の公共施設の使用に関しては、それぞれの施設の設置条例などで使用の承認について規定しており、使用者および使用目的などにより、都度、使用の可否が判断されるものと認識している。

問 違法行為を繰り返す統一協会から、市民を守っていくことが必要だと思ふ。市長の認識は。

ChatGPTなど生成AIの市政事務への活用について



梶浦 議員

問 安全性を確保しながら生成AIを行政事務に活用することにより、業務の効率化が促進され、市民サービスや接遇の向上が期待できると考えるが、市政事務への活用については。

答 現時点では想定していない。

議員公務

新人議員の研修を行いました (令和5年5月16日、24日)

元全国都道府県議会議長会事務局次長の内田一夫氏をお招きし講義を受けました。また、市内の現場視察を行いました。



正副議長公務日誌

稲城市民憲章推進協議会 総会 (令和5年6月10日)

4年ぶりに会場開催された総会に出席し、市議会を代表して挨拶しました。



海外姉妹都市歓迎オリエンテーション (令和5年7月15日)

海外姉妹都市フォスターシティ市から、年少少女27人が稲城市の子どもたちとの交流を目的に来訪しました。歓迎オリエンテーションに市議会を代表して出席しました。



